



ヘルマンハーブ ミニコンサート 2026



日時：2026年9月6日(日)

午後14:00～14:40

場所：稲荷第一市民センター 3階ホール

演奏者：ヘルマンハーブ教室

『チュトワイエ』の皆さん

お申し込み

2026年8月23日(日)

午前9時30分より

常澄図書館カウンター

電話にて受付

(☎029-269-1751)

定員：30名



ヘルマンハーブについて

ドイツ・バイエルン州の農業主、ヘルマン・フェー氏が1987年にダウン症の息子のために開発した弦楽器です。

ダウン症の息子に「メロディを自分で演奏することのできる楽器を
与えてあげたい」と願ったヘルマン氏はヘルマンハーブの楽譜のシステムを考案しました。

そして、この楽譜を使った演奏システムと、息子の身体の特徴に合った新しい楽器、“ヘルマンハーブ”を開発しました。

ヘルマンハーブの噂は、口コミで、オーストリアやスイスへも広がり、障がい者も健常者も、音楽経験の有無など関係なしに、誰もが演奏を楽しめる世界が誕生しました。

日本では音楽経験や年齢、性別を問わず、すべての人の高品質の弦楽器であることを重視した普及を行っています。

ヘルマンハーブはすべてドイツの職人によって手作りされています。

日本ヘルマンハーブ公式サイト

<https://www.hermannharp.com/>

および Wikipedia 参照

